




ボーリング柱状図

調 査 名 二級河川 黒瀬川水系 古河川支川砂防事業に伴う測量設計等業務委託

[illegible]

事業・工事名 二級河川 黒瀬川水系 古河川支川砂防事業に伴う測量設計等業務委託

シ-トNo

ボーリング名	Bor.3		調査位置		広島県東広島市八本松町 原					北 緯	34° 23' 57.88304"			
発 注 機 関	広島県西部建設事務所 東広島支所				調査期間 令和 1年 5月 13日 ~ 1年 5月 15日					東 経	132° 39' 50.00945"			
調査業者名					主任技師		現代 場 代 理 人			コ ア 鑑 定 者		ボーリング 責 任 者		
孔 口 標 高	H=257.61m		角			方			地盤勾配			使用機種	KR-100H	
総掘進長	8.05m		度			向			エンジン	NFAD-8		ポンプ	EP-45	

標尺	標高	深度	柱状	岩種	色調	硬軟	コア形状	風割れ目の状態	変質	記号	コア採取率 最大コア長 R Q D [%]	岩級	孔内水位 (m) / 測定月日	(ルジオン 標準貫入) 試験 (P ~ QN値 ~ 深度) 図 □ : ルジオン値 ○ : 換算ルジオン値 ◎ : 限界圧力 N 値	原位置試験 ()	室内試験 ()	掘進状況 掘進 月日	孔徑 mm / 孔壁保護 連速度 (cm / 時)	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水量 (1 / 分)	排水量 (1 / 分)
1			粘土混じり砂	褐灰	E	VI	d			砂は粒子不均一な細砂～中砂を主体とする。 全体的に粘土分及びシルト分をやや多く混入する。 下部粘土分が多く、やや軟らかい。 含水量低位～中位。	(100)			1.15 (0.11) 1.45 (1.1) 2.15 (1.1) 2.45 (1.45) 3.15 (1.45) 3.45 (2.35) 4.15 (2.35) 4.45 (2.35) 5.15 (2.35) 5.35 (2.35) 6.15 (32.18/5) 6.30 (25.25/5) 7.00 (25.25/5) 7.15 (25.25/5) 8.00 (25.25/5) 8.05 (25.25/5)			掘進	86 / クレッシング	-	-	-	無水
2	255.26	2.35	礫混じり粘土質砂	淡褐灰	E	VI	d			φ2～10mm程度の重角礫を少量混入する。 砂は粒子不均一な細砂～中砂を主体とする。 全体的に粘土分及びシルト分をやや多く混入する。 局所的に粘性土が優勢な部分がある。 含水量低位～中位。	(100)		5/15 4.40				掘進	400	-	-	-	無水
3			風化花崗岩	淡褐灰	E	VI	d	w3	h3	主として砂状コアをなす。部分的に角礫状コアとなる。 全体的にマサ化し、風化・変質が著しく指圧で容易に砕ける。 DH級相当として評価される。	(100)	DH				掘進	300	DCT / MC	0.5 / 1.0	60	0.05	清水 / 10
4	252.81	4.80									(100)						掘進	200	1 / 1.5	60	0.05	清水 / 10
5											(100)						掘進	5/14				